



3月15日(土)・16日(日)の2日間、萩町周辺の雪山を歩く「スノーシュートレッキングモデルツアー」を開催しました。今回の「モデルツアー」には、県内外から男性6名、女性4名、スタッフ6名の計16名が参加。1日目は良い天気にも恵まれ、ガイドを務めていただいた当クラブ代表の蟻原さんを先頭に、山肌が見え隠れする萩町南側の林道を上り始めました。道中、普段見られない萩町合掌造り集落の南側からの景色を見ながら、1時間半程度かけて、昼食地点へ到着しました。皆さんに振る舞ったのは、「白玉入りすったて」と「漬け物ステーキ」、どれも好評で、満足していただけたと思います。また、昼食地点からは、綺麗な白山も見ることができ、参加者にもスタッフにも居心地の良い場所になったかと思います。帰り途中の一休み「Coffee Break」では、この日のために地元の方に作っていただいたスイーツとコーヒーも堪能していただきました。翌日は、小雨で天気こそ悪かったのですが、大窪周辺の雪山を歩き、前日と違った風景を楽しんでいただきました。

何分、初めての企画で不安もありましたが、ツアー終始、雪山を歩く初心者、経験者、スタッフ皆が和気あいあいと行動することができ、とても素敵なツアーになったかと思います。次シーズンにつなげられるよう、反省するところは反省し、改めるところは改め、根が生える白川村らしい冬のイベントにしていきたいです。

また、春の兆しも見え始め、いよいよ大白川のトレイルコースが本格稼働できるよう準備を始める時期になってまいりました。興味のある方は事務局若しくは役場観光振興課までご連絡ください。

観光振興課 大澤 珠生



●問い合わせ先

事務局：白川郷自然共生フォーラム ☎6-1185 観光振興課 商工観光係 ☎6-1311

消防署だより

平成26年度 全国統一防火標語
『もういいかい 火を消すまでは まあだだよ』

【春の火災予防運動】

白川郷の「平成26年春の火災予防運動」は4月13日から19日にかけて実施されます。

この運動は、火災が発生しやすい時期を迎えるにあたり、防火思想の一層の普及を図るもので、期間中は「火災予防」のサイレン吹鳴、防火パレードや消防団による防火訪問を行います。ご協力をお願いいたします。

【火災警報について】

春先は、空気が乾燥し、火災が発生しやすくなります。湿度・風速等の状況により一定の危険度に達すると「火災警報」が発令されます。

消防署では、警報発令時に防災行政無線、村内巡回による広報を実施し、火の取り扱いに對して注意を促します。火災警報が発令されますと次のような火の取り扱いが禁止されます。

- ① 山林・原野における火入れ又は喫煙
- ② 煙火の消費
- ③ 屋外における、火遊び又は焚火

【職員紹介】

4月より人事異動に伴い、4名の新しい職員が配属となりました。



手塚 正太 (25歳)
消防士(主事補)



高島 祐哉 (27歳)
消防士(主事補)



上坪 直樹 (36歳)
消防司令補(主査)



野中 聖司 (40歳)
消防司令補(主査)

美しい風土、支え合う暮らし、人々の心のふる里「世界遺産」飛騨白川郷で勤務できることを誇りに感じると同時に、身の引き締まる思いです。

村民、または白川郷を訪れる人々の「安心・安全」のため、精一杯勤務させていただきますので、よろしくお願いいたします。

3月中の火災と救急 火災 0件 救急 10件 救助 0件



図書『伊藤文庫』の

無料貸出しサービスについて

5月1日より
貸出し開始!

白川村教育委員会では、読書活動を推進する目的で、図書「伊藤文庫」の無料貸出しサービスを5月1日より開始します。この図書は、伊藤政策顧問から寄贈していただいたもので、白川村教育委員会事務局において「伊藤文庫」として約700冊を管理しています。1人でも多くの方に図書を読んでいただき、多くの知識、生き方、考え方を学んでいただけたら幸いです。



■ 図書の貸出しに関すること ■

□「伊藤文庫」管理場所：役場2F 教育委員会事務局

芥川賞受賞作品をはじめ、様々な分野の図書が約700冊貸出し可能です。

□貸出の方法：教育委員会事務局で借りたい図書を選び「図書カード」を提示ください。

※「図書カード」は教育委員会事務局で作成します。(名前・住所・電話番号・メールアドレスを記入)

□貸出し時間：平日の9:00~11:30、13:30~16:30

□貸出し冊数と期間：1人2冊まで、3週間貸出し可能

※借りている図書を返すまでは次の図書を貸し出しできません。

□対象者：白川村民で利用規約を承諾できる者

詳しい利用規約、貸出図書一覧等は教育委員会または白川村ホームページで確認することができます。

また、電話での対応もさせていただきますのでお問い合わせください。

この他にも「岐阜県図書館」の図書貸出しサービスもぜひご利用ください!

●問い合わせ先 白川村教育委員会 社会教育係 TEL6-1311

診療所 だより

伊左次 悟 先生



高齢者と肺炎球菌予防接種

高齢者に対する肺炎球菌予防接種の重要性が見直されています。これは肺炎の予防接種ではなく、肺炎の原因のひとつの「肺炎球菌」の予防接種です。そして「肺炎球菌」は高齢者の肺炎では最も多い原因の菌であるようです。

肺炎球菌予防接種の効果については、老人ホームで実施したところ13人に接種すると1人の肺炎を予防できたそうです。また3人接種すれば1人の「肺炎球菌による肺炎」の死亡を防げたそうです。ただし老人ホームでのかなりの高齢者の話であり、寿命が伸びるかどうかもまでははっきりしていません。

白川村で過去に明らかに肺炎で亡くなった24人を

調べると平均死亡年齢は90歳近くになり、比較的長生きされた方に多い死因と言えます。しかし白川村で自宅にて療養中の高齢者で年に2回ほど肺炎をおこしていた方が、予防接種後1年以上肺炎をおこしていない例もあります。村からの助成を受けて、さくら山荘で肺炎の危険の高い方を優先して12月に予防接種を実施したところ、寒さの厳しかったこの冬の間に1人も肺炎をおこしませんでした（私の緊急の呼び出しも減り助かりました）。

65歳以上の方は今後全員が肺炎球菌予防接種を受けるように変わっていくようです。さらに白川村では先行して4月から「65歳以上の中でより危険の高い方」への予防接種費用の助成が本格的に始まるようです。なお65歳以上でも比較的健康的な方は焦る必要はありませんのでお待ちください。肺炎球菌予防接種は基本的に1生に1度で十分であり、(接種後5年すぎても)全員に2回目の接種は勧められていません。2回目の接種の効果ははっきりしておらず、有害反応がおきやすくなったり、なんと予防接種を繰り返すと逆に予防効果そのものを弱める可能性も指摘されています。

白川村とくとく商品券の利用結果について

『利用率は99.7%』

昨年発行された「白川村とくとく商品券」の利用期間が2月末日で終了しました。商品券発行総額18,000千円に対し、17,947千円分の商品券が村内168店舗中、50店舗で利用されました。特に冬期間ということもあり、灯油購入に多く使用されたほか、食品・車関係など日常生活品や女性の美容関係などにも広く利用されました。発行元の白川村地域商品券実行委員会では、26年度も継続し、多くの村民に購入いただくことで、村内での消費意欲を拡大し、経済効果を高めたいと考えています。

業種別利用状況	
業種	割合
小売店	69.1%
理容・美容	5.9%
旅館・民宿	2.7%
飲食店	2.7%
自動車整備	12.8%
建設・建築	3.1%
土産販売店	0.1%
その他	3.6%



とくとく商品券「抽選会」開催!

3月18日(火) 白川村とくとく商品券の購入特典であった「抽選会」が役場で行われました。実行委員長をはじめ関係委員ら7名による抽選の結果、15名の方に賞品が当たりました。おめでとうございます!

岐阜県市町村振興補助金が利用されました

白川村では、地域の活性化を図る目的に、平成25年度岐阜県市町村振興補助金の助成を受けて次の事業を実施しました。

事業名：白川村商品券事業

「白川村とくとく商品券」を期間限定で販売し、村民の生活に係る費用負担の軽減を図るとともに、村内の店舗において購買意欲を高めることで地域経済及び商工業の活性化を図りました。



災害に強い安全安心の広域観光まちづくり! 避難所や避難誘導の明確化をめざして

「北陸飛驒3つ星街道防災 ★★★★★

★★★ パートナーシップ協定」を締結

金沢市、高山市、南砺市と白川村が、災害時に備え観光客の安全確保を目的とする「北陸飛驒3つ星街道防災パートナーシップ協定」を締結しました。広域連携によって、観光地付近の避難所を明記したウェブサイトを作成するなど災害面に配慮した観光地をアピールします。今回、金沢市役所で行われた調印式には3市1村の首長が協定書を交わしました。今後は、住民や観光ボランティアが観光客を的確に避難誘導できるようマニュアルの作成や、避難所が一目でわかる看板のデザインも考案し、掛け替えの際などに反映させる予定です。金沢市、高山市、南砺市、白川村は旅行紙「ミシュラン・グリーンガイド・ジャポン」に三つ星で紹介された観光地であり、「北陸飛驒3つ星街道」として広域観光の連携や、広域防災共助推進協議会における防災面の協力についても確認が行われました。



可燃ごみを減らすために

「始めようごみダイエット！」

毎日の心がけが減量へとつながります！

回収された資源ごみの「リサイクル」について

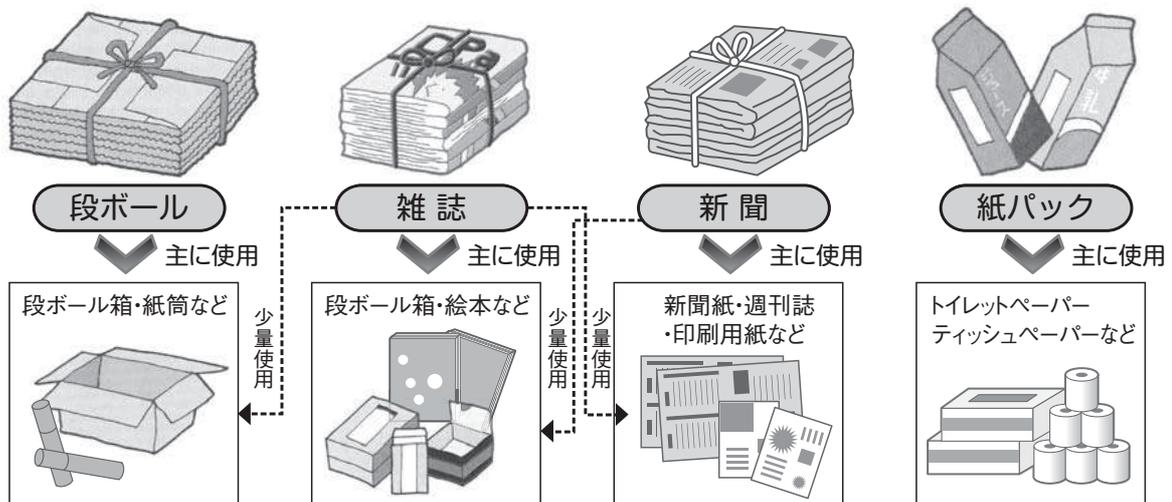
今回は「新聞、雑誌等、紙パック、段ボール」と「ペットボトル」のリサイクル方法について紹介します。

「新聞、雑誌等、紙パック、段ボール」

紙類は、村のリサイクルハウスに一定量たまると高山市などのリサイクル業者に運搬されます。種類ごとにプレス梱包した後、原料として製紙工場へ出荷され、新たな紙製品へとリサイクルされます。

分別収集することによって、古紙リサイクル品として生かすことができます。再生品になるか、可燃ごみになるかは皆さんの心がけで決まります。

紙類のリサイクル例



◆村の排出状況

年度	新聞・広告	雑誌	紙パック	段ボール
平成22年度	4,848kg	15,234kg	970kg	35,357kg
平成23年度	4,888kg	12,636kg	1,110kg	37,430kg
平成24年度	6,032kg	11,574kg	980kg	37,944kg

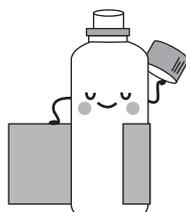
「ペットボトル」

ペットボトルはお茶やジュース、ミネラルウォーターなどの清涼飲料、しょうゆやお酒類などに使用されています。加工しやすいので、用途にあわせたデザインやサイズが豊富にそろっています。

ステーションで回収されたペットボトルは、保木脇の倉庫で保管されます。約500kgから600kg程度たまると(株)高岡市衛生公社砺波営業所TEKリサイクルセンターへ運搬します。(株)高岡市衛生公社では、粉砕機でペットフレーク状にして、国内の各企業に供給され、商品原料として(ワイシャツやカーペット、たまごのパックなど)色々な製品に大変身します。

◆村の排出状況

年度	ペットボトル
平成22年度	4,295kg
平成23年度	3,785kg
平成24年度	4,345kg



捨ててしまえばごみだけど、
リサイクルすれば宝物！

●問い合わせ先 総務課 環境係 TEL6-1311

PM2.5の注意喚起について

これからの季節「黄砂」と一緒に飛来します！

近年PM2.5という微粒子をお聞きになったことがあると思いますが、岐阜県では大気中のPM2.5が環境基準を超えるおそれがあると判断した場合は、村の防災行政無線などで注意喚起をお知らせしますので健康への影響を減らす対応をよろしくお願いします。

PM2.5とは？

大気中に浮遊する粒子のなかで粒子の大きさが2.5μm以下の非常に小さな粒子状物質です。物を燃焼したときに発生するものや、大気汚染物質が化学反応により粒子化したものがPM2.5の成分の一つとして考えられます。

スギ花粉 30μm	黄砂 4μm	PM2.5 2.5μm以下
		

PM2.5はスギ花粉と比較すると12分の1以下の大きさです。
(1μm=1mmの1000分の1)

健康への影響は？

PM2.5は非常に小さな粒子のため、肺の奥まで入り込み呼吸器に影響を与えたり、粘膜に入り喉や眼などに痛みが生じたり、肺がんのリスク上昇や循環器系への影響も懸念されています。なお、これらの影響は個人差があり、呼吸器系や循環器系に疾患のある人、子どもや高齢者などは特に個人差が大きいと考えられます。

注意喚起の実施は？

注意喚起は、PM2.5濃度の日平均値が70μg/m³を超えると予想される場合に、屋外活動が増える日中の参考となるよう実施します。

注意喚起が実施された場合は次の対応をお願いします！

- ・外出はできるだけ控えましょう
- ・屋外での激しい運動はできるだけ減らしましょう
- ・マスクを着用する際は、サイズを合わせ適切に使用しましょう
- ・屋内にPM2.5を持ち込まないよう換気は必要最小限にし、洗濯物は中に干すなど工夫しましょう
- ・ぜん息や心臓病などがある人、子ども、高齢者は体調の変化に注意するよう呼びかけましょう

● 問い合わせ先 総務課 環境係 TEL6-1311

みんなのスポーツ (敬称略)

活躍した選手やチームを紹介します！

2014美並カップサッカー大会U-12
3月16日(日) 美並まん真ん中グラウンド
3位グループ トーナメント戦
第2位 白川少年サッカークラブ



優秀選手賞 福地 優穂 (荻町)



祈健闘！ 新谷 翔也くん(木谷)

3月20日(木) 新谷翔也くんがJOCジュニアオリンピックカップ2014兼全日本ジュニアスキー選手権大会アルペン競技の出場報告に役場を訪れました。大会は3月27日から北海道かもい岳スキー場で行われ、村長らから激励を受けた新谷くんは「全力を尽くし優勝目指して頑張りたい」と抱負を語ってくれました。



第18回村民ゲートボール大会
3月27日(木) ふれあい体育館

- 第1位 長生会チーム
(大洞 森雄・坂井 奎子・清水 良子・水木 秀子・渡邊 久子)
第2位 寿会チーム
(宇田 すみ・高桑 英一・坪内 修一・森崎つさの・吉貫千恵子)



長生会チーム



寿会チーム

村 機 構 図

平成26年 4月 1日付

村 長

副 村 長

村 民 課		総 務 課				課	
診療所 伊左次	診療所 宮丸 (診療所 事務長兼務)	課 水野 長				課長	
診療所	健康福祉 担当	税財政担当		行政担当		担当	
和東 (和田)	岩本(巳) 吉實	近藤		白井 (議事事務局 局長 兼務)		課長補佐	
診療所 白川・平瀬	村民健康 福祉係	選挙管理 委員会事務局	環境係	庶務係	議事事務局	係	
坂本(弥) 鈴口(久)	清水 橋脇 (新採)	和(田) 小坂(貴)	尾崎	萩田	福地	主査	
吉山 (新採)	藤井	松平 井田				係員	
平瀬・白川診療所業務、訪問看護、国民健康保険特別会計 (直診)、老人福祉センター、諸証明発行	民生児童委員協議会、介護保険事業、畜犬関係、日赤、食品衛生、献血推進、成人保健・歯科保健・母子保健、住民健診、食生活改善、機能訓練、保健推進活動、高齢者筋力トレーニング事業、地域包括支援センター、子育て支援、乳幼児学級	選挙管理委員会に関すること 村税、国税・県税連絡、公図、各種証明、納税相談 予算、村債、地方交付税、電源立地交付金、振興補助金、過疎・辺地計画、村補助金・交付金、固定資産評価審査委員会、監査委員会、行政改革 監査委員会に関すること				議会提出議案の調整、議会の連絡調整、議事録、条例・規則の制定改廃 行政、給与、情報公開、職員共済、行政相談委員、区長会、特別職報酬等審議会、職員共済(団体保険)、女性政策、郡町村会、公平委員会 財産管理、移動通信、庁用車管理、マイクログバス業務、物品・備品管理、村営住宅、法定外公共物、情報通信、共済(建物・自動車)、庁舎管理、リサイクルハウス、温暖化対策、環境保全、廃棄物処理、公害防止、環境行政、広報公聴、消費者行政、統計、交通安全対策、景観計画、屋外広告物、他課に属さないもの 消防防災、遭難対策、同報無線、国民保護計画	分 掌 事 務

倉 教 育 長

教育委員会事務局	
成 畑	保育園長 事務局長 向
保 育 園	学校教育 社会教育担当 根 尾 (給食センター長 兼務)
白川保育園	学校教育係 社会教育係
平瀬保育園	文化財係
北原	川瀬 新谷(臨) (社教主事)
大高坂 倉本(真) 倉奈	池尾 野塚(玲) 山口(真) 山下(真) 佐藤 (学校) (新採) 二保
白川保育園業務	教育委員会、教育計画、学校施設整備運営、スクールバス、給食センター、ALT、児童生徒の就学、児童生徒の福利厚生、教科書・図書、地域女性協議会・乳幼児・家庭・中高年・高齢者教育、人権同和教育、図書館管理、公民館活動支援、村民憲章推進、青少年育成村民会議、各種団体育成、社会教育・体育施設、社会体育、白川小中学校、平瀬力ルチャ―センター、ふれあい体育館、体育協会、乳幼児学級

会計室
宮脇 会計管理者
会計担当
山下(修)
支払・公金収集事務、基金の運用管理、決算、(一財)緑地資源開発公社・(二財)世界遺産保存財団の支払、文書受付・発送、ETC管理、入札執行

観光振興課	
飯波 課長	産業振興担当
観光担当	岩本(一)
大澤	産業振興係
商工観光係	高島(一)
白戸 光川	加門
観光振興、観光情報の収集提供、観光イベント開催、観光施設の維持管理、商工業の振興、労働に関すること、スキー場事業、自然公園、雇用対策、世界遺産交通対策(特産品開発)	土地利用対策、国際交流、総合計画、広域行政、プロジェクト事業計画調整、定住村づくり対策、企業誘致、公共交通

基盤整備課		
谷藤 課長	建設担当	農林担当
古田	建設係	農林係
鈴木(雅)	西村 南	白木(秀) 鈴木
農業委員会 事務局	松古	農業委員会に関すること
一般土木、村道、農道、水路、普通河川管理、砂防、治山、林道、村工事・検査、除排雪、農地整備、上下水道事業、道の駅、平瀬街並整備、白山スノーバー林道維持管理、温泉開発事業	農業、畜産農業改良組合、農業共済、農業者年金、農振法事務、農林統計、林業振興、特用林産物、有害鳥獣駆除、公有林整備及び管理、花いっぱい運動、農業改良普及事業、地籍、(特産品開発)	

◎高山市消防本部へ派遣：高島(祐)、手塚(正)、上手、今藤、田中(新採)、奥村(新採)
◎北海道大学から麻生特任助教派遣
◎地域おこし協力隊：柴原、大倉(暁)、高橋

太字ラインは今回異動・昇格した職員及び新規採用職員